


四国経済の現状について

(全国財務局長会議資料)



I. 四国財務局管内の経済構造

II. 最近の四国財務局管内の経済情勢

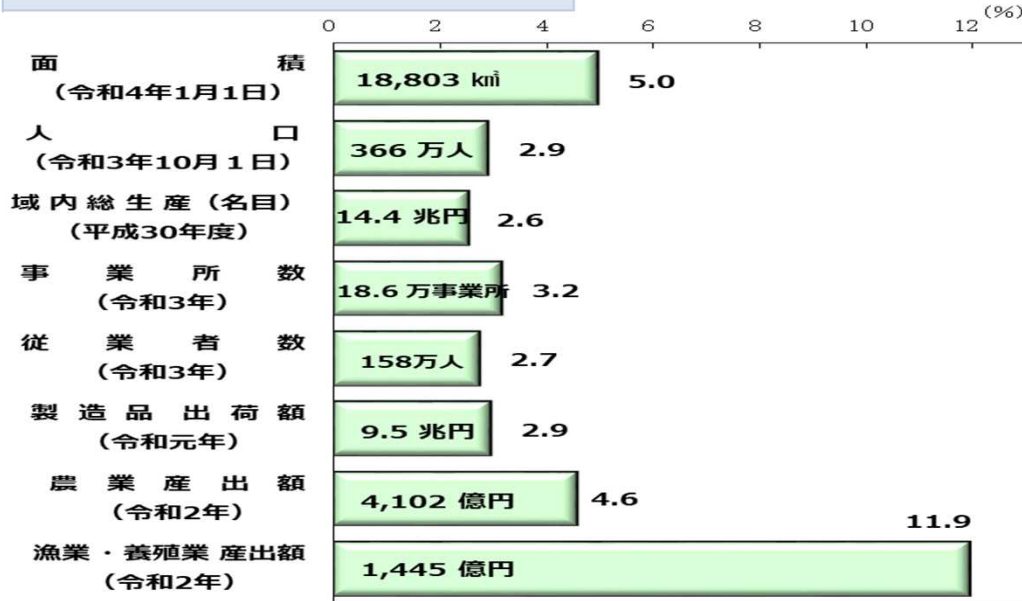
令和4年7月27日

四 国 財 務 局

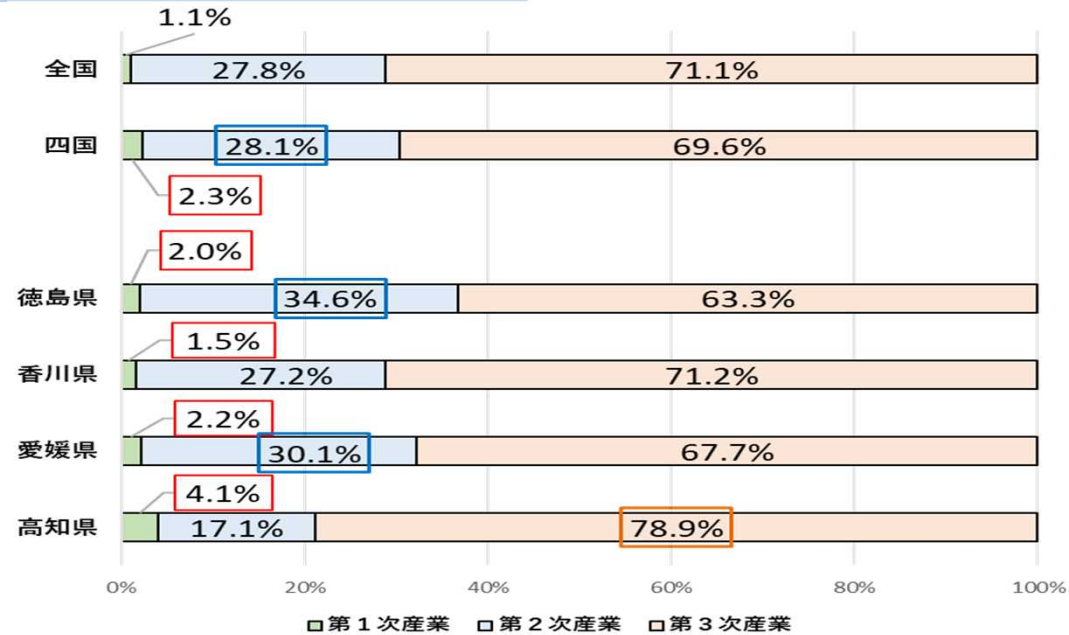
I. 四国財務局管内の経済構造

- 四国地方の人口は約370万人、全国ウエイトは2.9%。域内総生産（名目）は14.4兆円、全国ウエイトは2.6%。
- 四国地方の経済構造をみると、第1次産業、第2次産業の割合が全国よりも高い。県別にみると、全国に比べ、各県とも第1次産業の割合が高くなっているほか、徳島県、愛媛県で第2次産業、高知県で第3次産業の割合が高い。
- 農林漁業産出額の構成割合をみると、漁業の占める割合が全国よりも高い。愛媛県では「まだい」などの養殖が盛んで、海面養殖業の産出額の全国シェアは13%を占め全国1位。

(1) 経済規模（全国ウエイト）



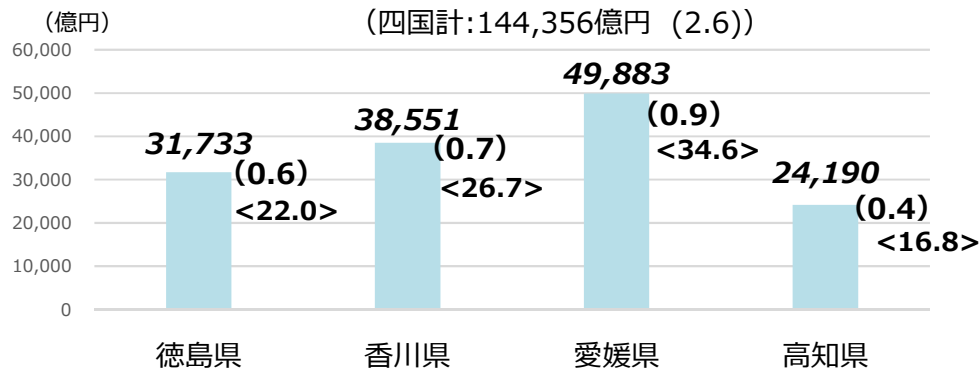
(2) 経済構造（産業構成比）



【出所】国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」、総務省「人口推計」、内閣府「県民経済計算」、総務省・経済産業省「令和3年経済センサス-活動調査（速報集計）」、経済産業省「工業統計調査」、農林水産省「生産農業所得統計」、「漁業産出額」

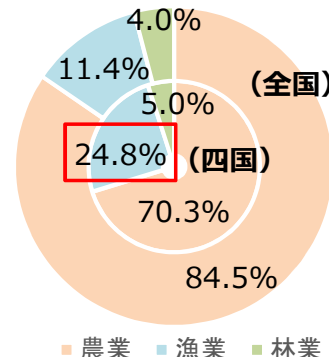
【出所】内閣府「平成30年度県民経済計算」

【県内総生産額】



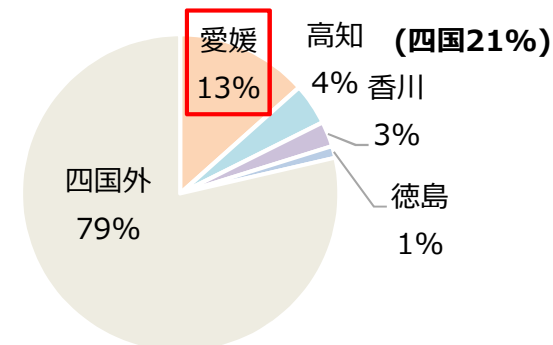
【農林漁業産出額の構成割合】

(四国産出額:5,838億円(令和2年))



【海面養殖業産出額シェア】

(四国産出額:935億円(令和2年))



【出所】内閣府「平成30年度県民経済計算」 ※ () は全国ウエイト、< > は四国内ウエイト

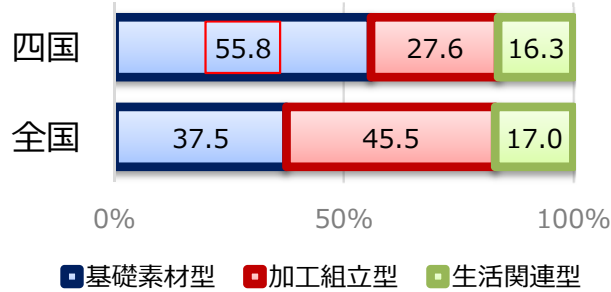
【出所】農林水産省「生産農業所得統計」「漁業産出額」「林業産出額」

I. 四国財務局管内の経済構造

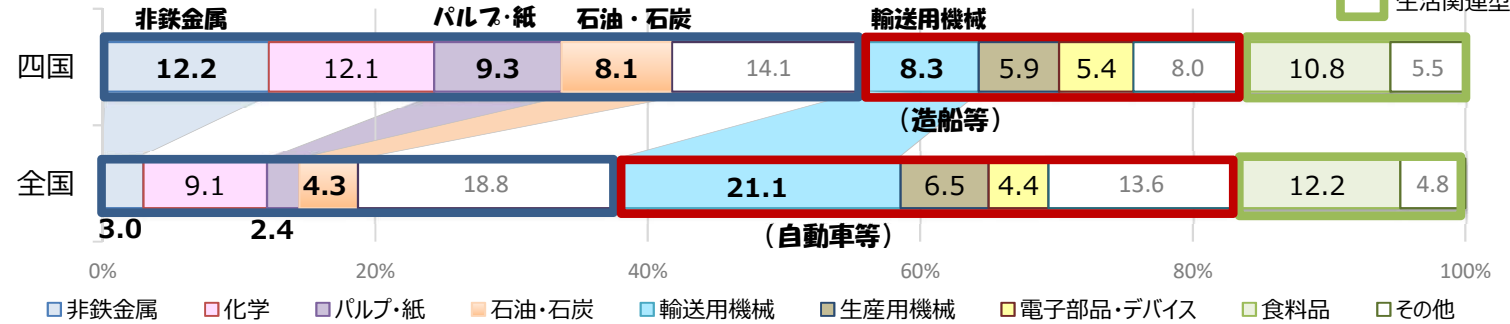
- 四国地方の製造品出荷額等は9.5兆円、全国ウエイトは2.9%。
- 産業類型別の構成割合をみると、四国の製造業は基礎素材型産業の占める割合が全国よりも高い。
- 業種別にみると、基礎素材型の非鉄金属、パルプ・紙、石油・石炭の占める割合が全国よりも高い一方で、加工組立型の輸送用機械の割合が低い。また、輸送用機械については、自動車の割合が小さく、9割以上を造船が占めている。

【製造品出荷額等からみた四国の製造業】

<産業類型別の構成割合>

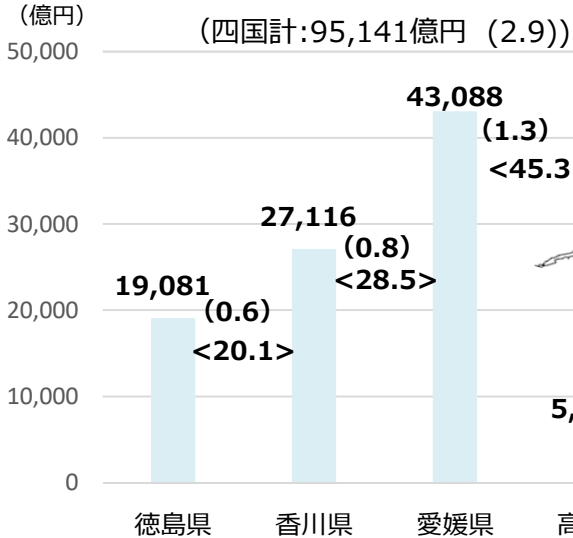


<業種別の構成割合>

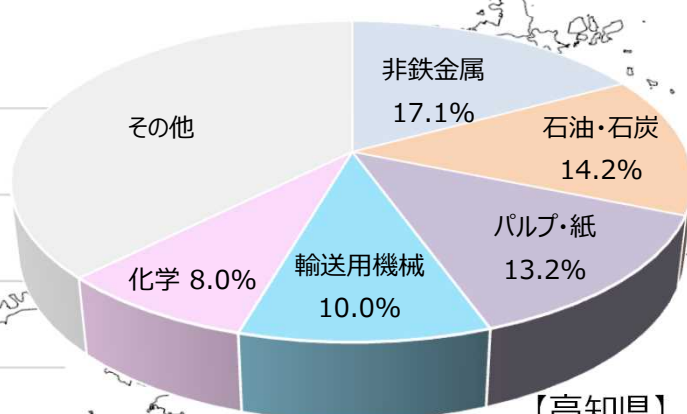


<各県別>

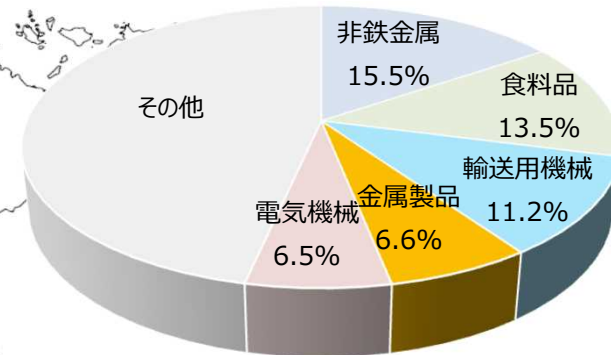
【製造品出荷額等】



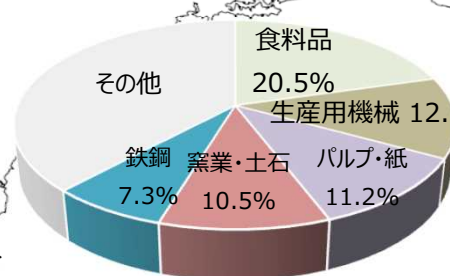
【愛媛県】



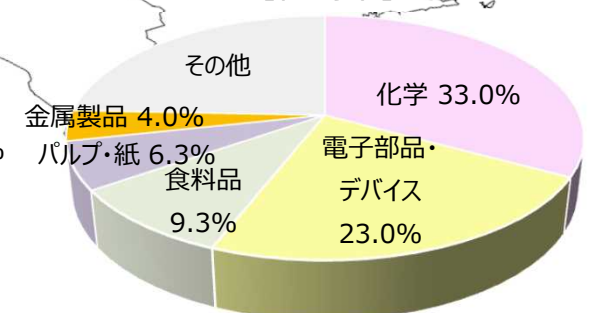
【香川県】



【高知県】




【徳島県】









【出所】経済産業省「2020年工業統計」 ※ () は全国ウエイト、< > は四国内ウエイト

Ⅱ. 最近の四国財務局管内の経済情勢

	前回（4年4月判断）	今回（4年7月判断）	前回比較	総括判断の要点
総括判断	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるなか、持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている （2期ぶり下方修正）	持ち直しつつある （2期ぶり上方修正）		個人消費は、スーパーに底堅さがみられる中で、コンビニエンスストア、百貨店、観光等が持ち直しつつあることから、全体としては持ち直しつつある。生産活動は、食料品や窯業・土石が持ち直しつつあるものの、電気機械が足踏みの状況にあることから、全体としては持ち直しのテンポが緩やかになっている。雇用情勢は、持ち直しつつある。

〔先行き〕

先行きについては、感染対策に万全を期し、経済社会活動の正常化が進む中で、各種政策の効果もあって、景気が持ち直していくことが期待される。ただし、ウクライナ情勢の長期化等が懸念される中で、原材料価格の上昇や供給面での制約等による下振れリスクに十分注意する必要がある。また、感染症による影響を注視する必要がある。

	前回（4年4月判断）	今回（4年7月判断）	前回比較
個人消費	感染症の影響により、持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている	持ち直しつつある	
生産活動	持ち直しのテンポが緩やかになっている	持ち直しのテンポが緩やかになっている	
雇用情勢	感染症の影響がみられるものの、持ち直しつつある	持ち直しつつある	
公共事業	前年度を下回っている	前年度を下回っている	
住宅建設	前年を下回っている	前年を下回っている	
設備投資	3年度は前年度を上回る見込み	4年度は前年度を上回る見込み	
企業収益	3年度は増益見込み	4年度は減益見込み	

※ 4年7月判断は、前回4月判断以降、7月に入ってからからの足下の状況までを含めた期間で判断している。

Ⅱ. 最近の四国財務局管内の経済情勢

個人消費

持ち直しつつある

(2期ぶり上方修正)

- スーパーは、衣料品等に持ち直しの動きがみられるほか、飲食料品が底堅いことから、全体としては底堅いものとなっている。
- コンビニエンスストアは、ソフトドリンク等に持ち直しの動きがみられることから、全体としては持ち直しつつある。
- ドラッグストアは、飲食料品等に動きがみられることから、全体としては順調となっている。
- 家電大型専門店は、エアコンや冷蔵庫に動きがみられることから、全体としては底堅いものとなっている。
- 百貨店は、衣料品等に持ち直しの動きがみられることから、全体としては持ち直しつつある。

〔主なヒアリング結果〕

「スーパー」

- 外出機会の増加などによって衣料品の動きがよくなっている。
- 食料品の値上がりの影響はあるものの、引き続き総菜等の動きはよい。

「コンビニエンスストア」

- 外出機会の増加などにより、ソフトドリンクやおにぎり等の動きがよくなっているほか、冷たい麺類の動きもよかった。

「ドラッグストア」

- 取り扱いを強化している飲食料品の動きはよい。また、外出機会の増加や行楽需要の高まりなどから、日焼け止め等に動きがみられる。

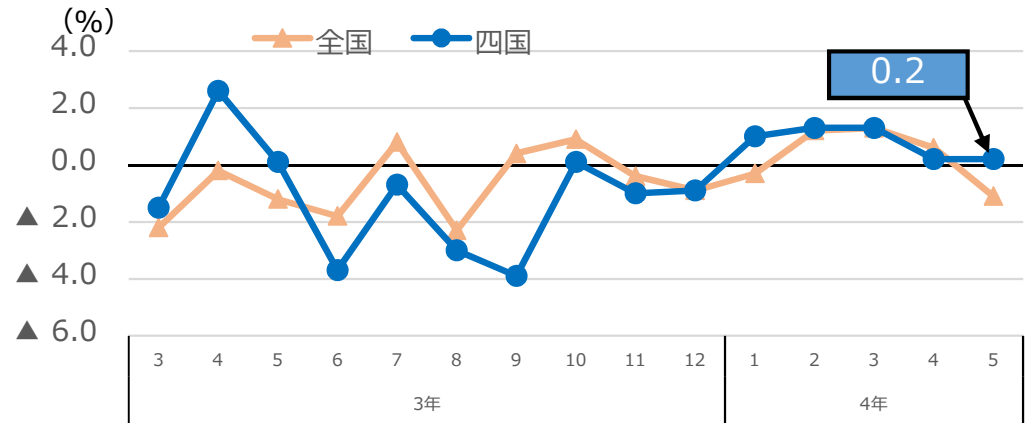
「家電大型専門店」

- 電気代の上昇により省エネ性能の高いエアコンや冷蔵庫の需要が高まっている。

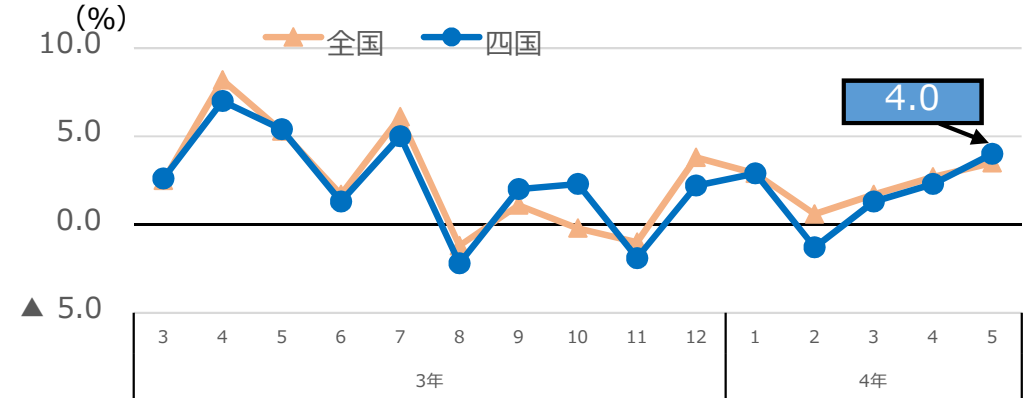
「百貨店」

- 来店客数が回復するなか、外出機会の増加などにより衣料品等の動きがよい。

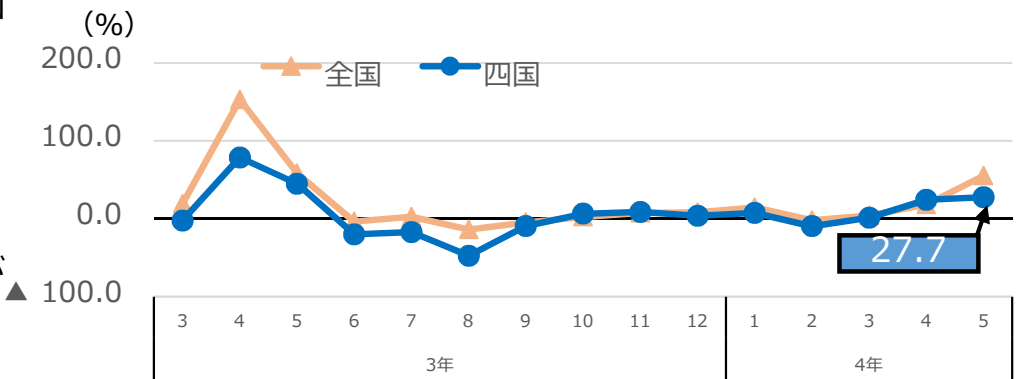
〔スーパー販売額（前年同月比）〕 (注) 全店舗ベース



〔コンビニエンスストア販売額（前年同月比）〕 (注) 全店舗ベース



〔百貨店販売額（前年同月比）〕 (注) 全店舗ベース



Ⅱ. 最近の四国財務局管内の経済情勢

個人消費

- 乗用車の新車登録・届出台数は、普通車、小型車、軽乗用車のいずれにおいても前年を下回っている。
- 観光は、行動制限の緩和などから、持ち直しつつある。
- 旅行は、国内旅行は持ち直しつつあり、海外旅行は不調となっている。

〔主なヒアリング結果〕

「乗用車」

○半導体不足や上海のロックダウンなどによる部品調達難の影響で減産を強いられており、登録台数は前年を下回る状況が続いている。

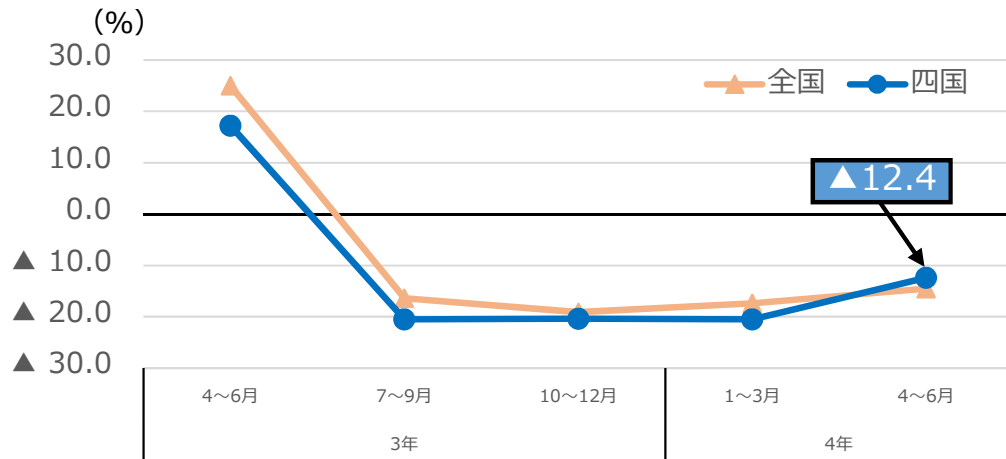
「観光」

○行動制限の緩和やイベントの効果もあって、観光客数は増加している。ゴールデンウィーク以降は、県外客も多くみられている。

「旅行」

○県民割の効果などにより、旅行者数は増加傾向にある。また、遠方への旅行もみられるようになった。

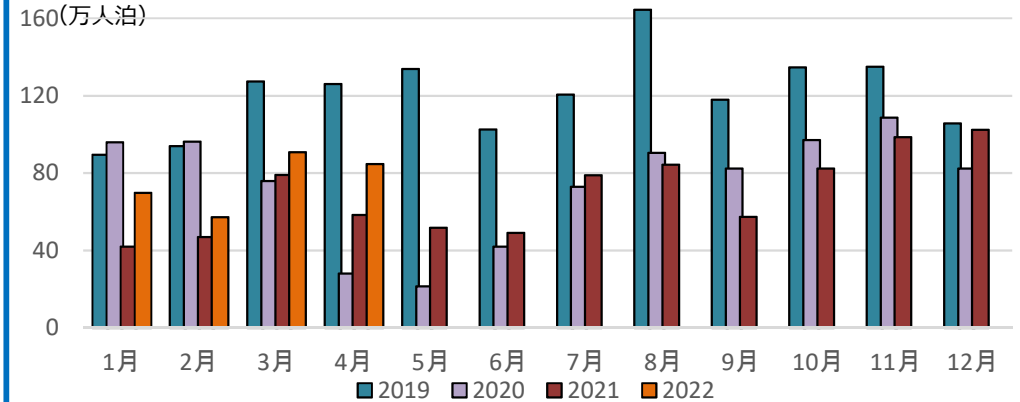
〔乗用車新車登録・届出台数（前年同期比）〕



【出所】日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会連合会、四国運輸局の公表データから算出

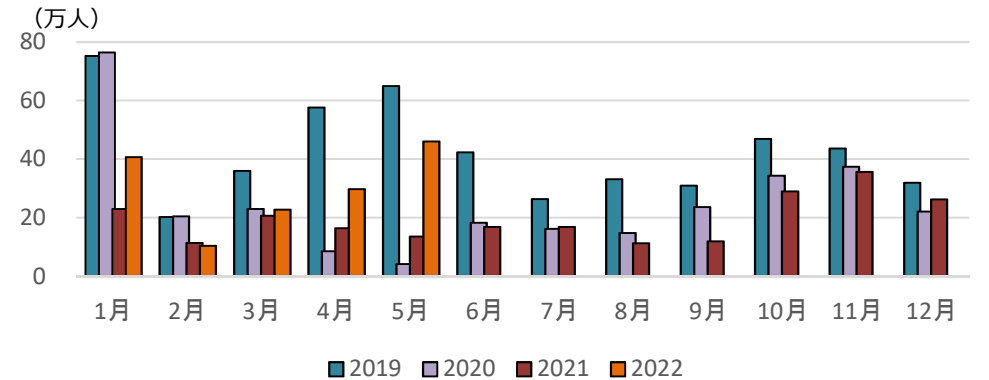
観光・旅行

〔四国の延べ宿泊者数（月別推移）〕



【出所】観光庁「宿泊旅行統計調査」

〔香川県主要観光地入込客数（月別推移）〕



【出所】香川県「香川県の地域情勢」※栗林公園、屋島、琴平、小豆島の合計

瀬戸内国際芸術祭2022

- 瀬戸内海の離島の活性化を目指した現代アートの祭典として、3年に1度開催される「瀬戸内国際芸術祭」が2022年4月から開幕。
(春会期：4/14～5/18 夏会期：8/5～9/4 秋会期：9/29～11/6)
- 春会期の来場者数は、前回（2019年）の芸術祭でみられたインバウンドがなかったことなどから約4割減となったものの、約23万人が来場。

<観光施設の声>

芸術祭でアート作品を展示していた効果もあって、観光客数は増加した。

Ⅱ. 最近の四国財務局管内の経済情勢

生産活動

持ち直しのテンポが緩やかになっている

(2期連続据え置き)

- 食料品は、外食向けで動きがみられることから、持ち直しつつある。
 - 窯業・土石は、堅調な需要を背景に、持ち直しつつある。
 - 電気機械は、供給面での制約の影響がみられることから、足踏みの状況にある。
- こうしたことから、全体としては持ち直しのテンポが緩やかになっている。

〔主なヒアリング結果〕

◀食料品▶

- 飲食店や宿泊施設向けの需要が回復している。

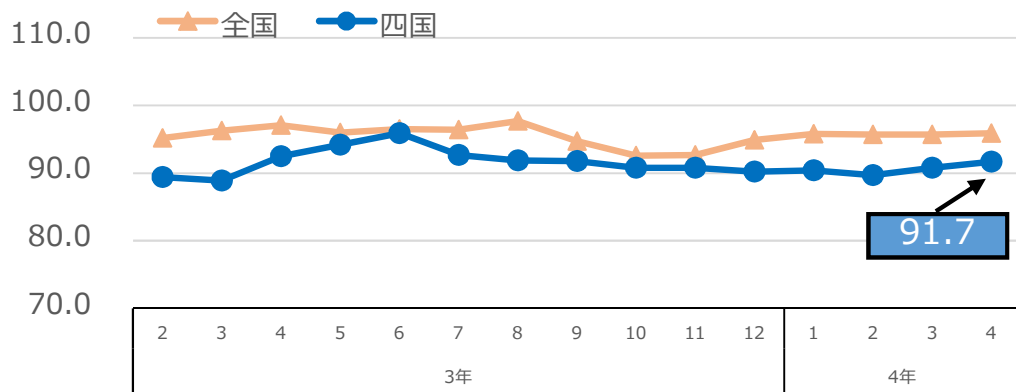
◀窯業・土石▶

- 世界的な半導体不足を背景に、半導体製造装置向けの需要は高く、高操業となっている。

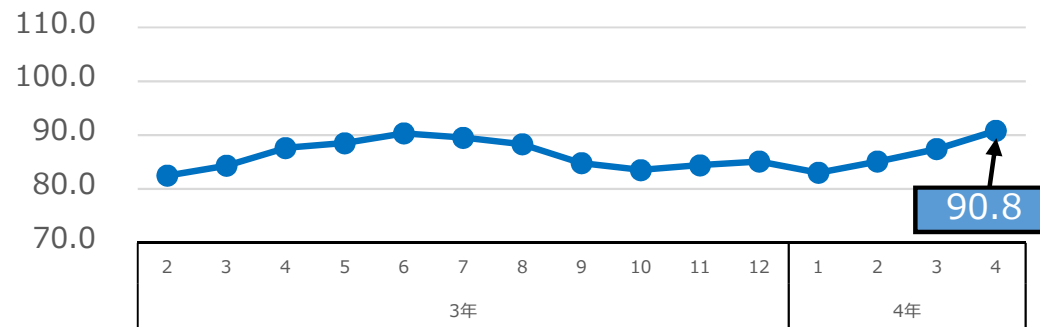
◀電気機械▶

- 中国における経済活動の抑制などの影響により、部品の入荷遅れが発生し、生産工程に影響が出ている。

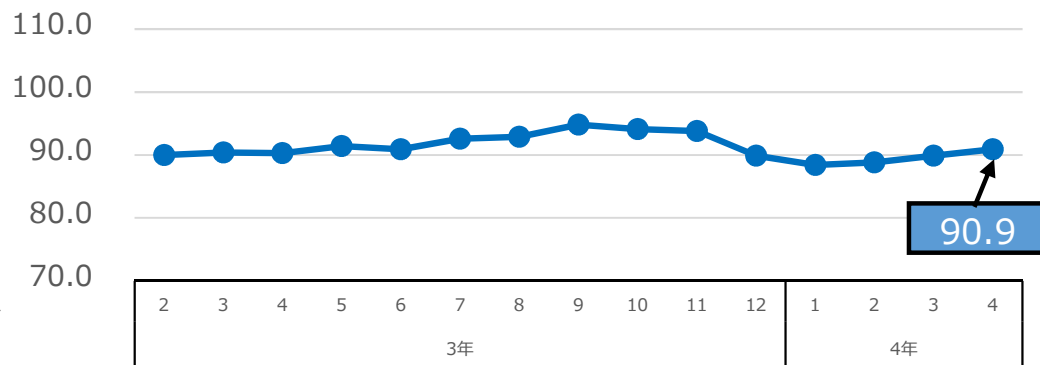
〔鉱工業生産指数（季節調整済指数、3か月移動平均）〕



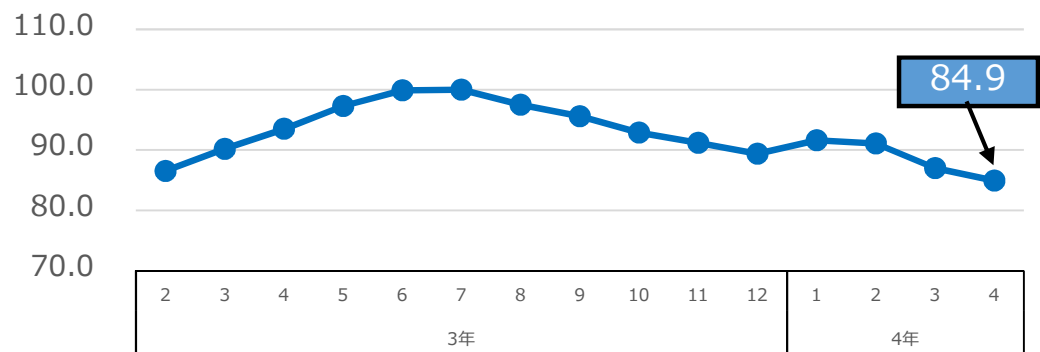
〔食料品（季節調整済指数、3か月移動平均）〕



〔窯業・土石（季節調整済指数、3か月移動平均）〕



〔電気機械（季節調整済指数、3か月移動平均）〕



(平成27年=100) 【出所】 経済産業省、四国経済産業局の公表データから算出

Ⅱ. 最近の四国財務局管内の経済情勢

雇用情勢

持ち直しつつある

(据え置き)

- 有効求人倍率は横ばいで推移している。
- 新規求人数は前年を上回っている。

〔主なヒアリング結果〕

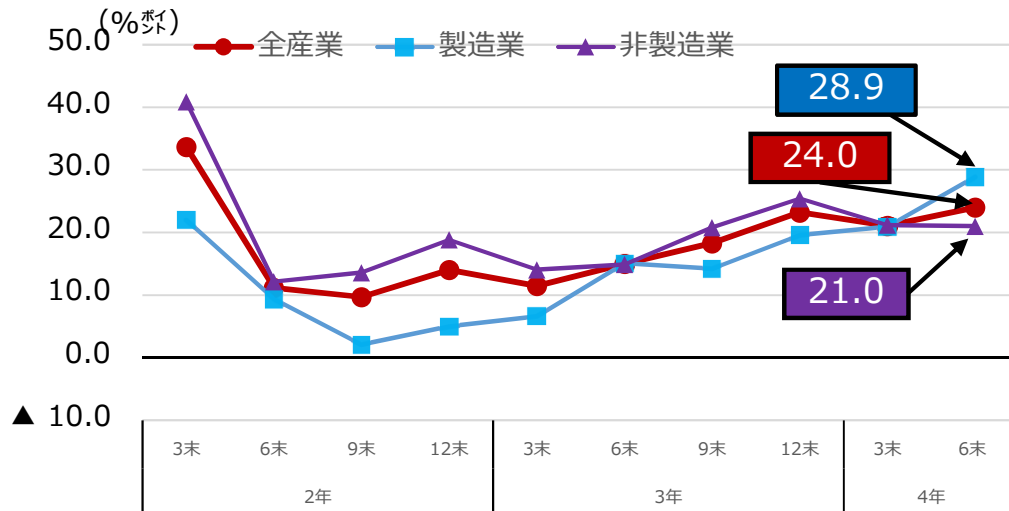
《労働局》

- 冷凍食品や総菜などの需要が好調なことから、食料品製造業で求人数が増加している。
- スーパーマーケットや食品関係の小売業で求人数が増加している。
- 行動制限の緩和によって、旅行客数が増加しており、宿泊業で求人数が増加している。

《飲食店》

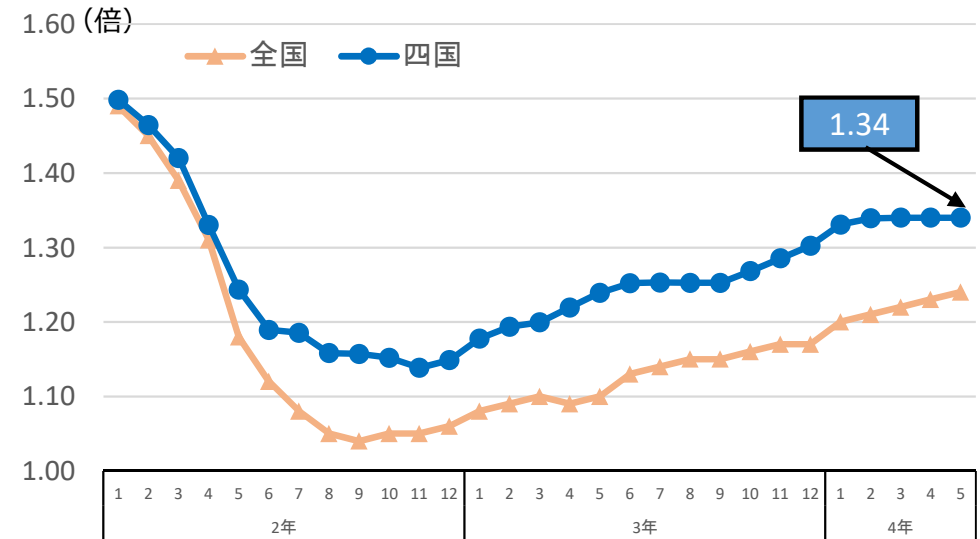
- 来店客数が増加しており、従業員数は不足気味となっている。特に休日は不足感が強い。

〔四国の従業員数判断BSI〕



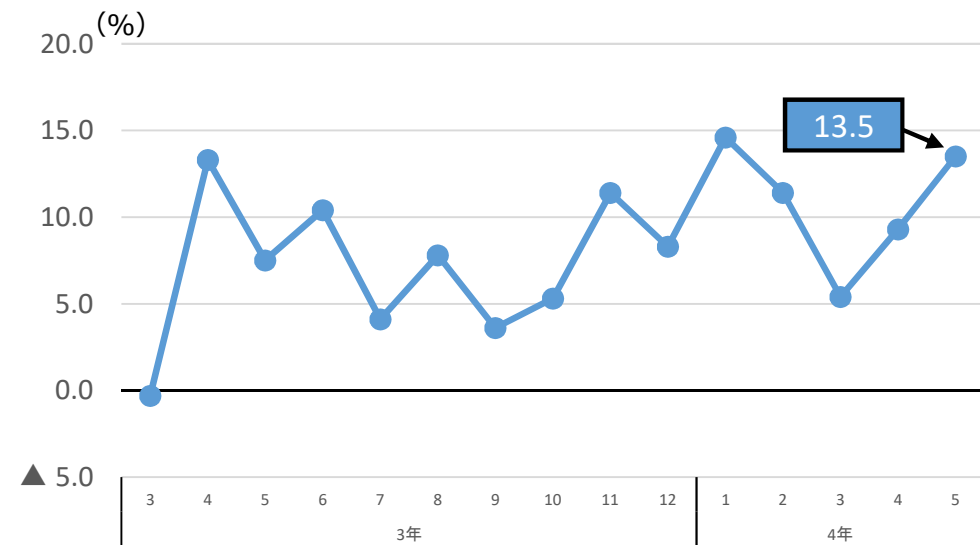
〔出所〕 法人企業景気予測調査結果 (四国財務局)

〔有効求人倍率 (季節調整値)〕



〔出所〕 厚生労働省の公表データから算出

〔四国の新規求人数 (原数値、前年同月比)〕



〔出所〕 厚生労働省の公表データから算出

II. 最近の四国財務局管内の経済情勢

原油・原材料価格の上昇等による企業への影響（企業の声）

- 原材料価格が上昇しているが、上昇分は販売価格に転嫁しているため業績への影響はない。円安の進行は、現状、マイナスよりもプラスの影響の方が大きい。【情報通信機械】
- 石炭価格の上昇に加え、ウッドショックでチップ価格が高値傾向であったところに、ロシア産チップの輸入が停止したため、さらにチップ価格が上昇。大幅な値上げは取引先に受け入れられる状況ではなく、コスト上昇分を吸収できていない。【パルプ・紙】
- 鋼材価格が上昇しており、仕入先の変更も難しく、値上がり分は利益を圧迫している。【その他の輸送用機械】
- ナフサ価格が上昇しており、現在は在庫で対応できているが、在庫がなくなると利益がかなり圧迫される。輸出商品を扱っておらず、円安によるコスト高の影響が大きい。【その他の製造】
- ナフサ価格の高騰で収益環境は悪化。少しずつ価格転嫁を図っているが、上昇分すべてを転嫁するのは難しい。価格上昇が続いており、値上げをしてもまたすぐ値上げが必要な状況。【その他の製造】
- ウクライナ情勢の影響により小麦の価格が上昇しているうえ、円安により牛肉、小麦といった輸入原料の価格が上昇しており、販売価格の値上げを決定した。【食料品】
- 原材料・包装資材・電気代等の生産にかかる費用が軒並み高騰しており、製品の納入先に値上げを交渉中。【食料品】

供給面での制約による企業への影響（企業の声）

- 半導体不足や上海のロックダウンなどに伴う自動車減産が続いており、自動車向けの受注が減少している。【鉄鋼】
- 自動車減産の影響から、自動車向けの受注や売上が戻りきっていない状況が続いている。【電気機械】
- 新規受注は堅調に推移しているが、電子部品等の確保が難しくなっており、納期の長期化、生産計画の見直しを招いている。
【生産用機械】
- ウクライナ情勢や上海のロックダウンの影響で様々な部品の不足が続いており、割高でも入手可能な部品への変更などで対応している。
【はん用機械】
- 中国における経済活動の抑制により部品の供給不足の影響が広がり、減産を余儀なくされたが、足下では持ち直しつつある。
【生産用機械】
- 半導体不足の影響で商品の入荷が遅れ気味となっており、メーカーによっては在庫切れの商品もみられる。【家電量販店】
- 給湯器や食洗器などの住宅設備について、上海のロックダウンの影響により部品が輸入されず完成品が手に入らないことから、代替品の利用をお願いしている。【住宅メーカー】

※計数は、季節調整替え、基準改定、速報の確報化、誤計数の判明等により、過去に遡って訂正される場合があるので、利用される場合は、各発表機関の直近の公表データをご確認ください。

■お問い合わせは

電話番号 087-811-7780

財務広報相談室（内線260）又は 経済調査課（内線250）へ

ホームページアドレス <https://lfb.mof.go.jp/shikoku/>

